

橋杭岩

約40もの岩が、栈橋のように海に向かって850メートル伸びています。和歌山県北部にある高野山の奥之院で永遠の瞑想状態で保存されていると言われている有名な仏教僧、弘法大師（774-835）によって形成されたと伝説ではいわれています。地元の人々から近くの紀伊大島への橋を架けるように頼まれたという伝説です。

地質学的な説明としては、1400万年前に地下空間からマグマが上昇し、泥岩層に広がり、そこで冷えて固化したというものです。長い時間をかけて大地が地震によって隆起しました。もろい泥岩が海によって侵食され、硬い火成岩が壁の様に露出して残り、後に柱の様な石に分かれていきました。近くに散らばる石は、津波によって運び出された岩の破片です。

干潮時に岩の間を歩くことができますが、満潮時もまた同様に壮観です。海岸沿いの展望台では、少し高い位置から紀伊大島に向かって伸びる岩を見ることができます。